提出課題１　　以下のテーマについてあなたの考えを述べて下さい。（日本語）

　これまでの国際関係に関する業務経験について述べた上で、２０２０年大会に向けた外国政府や海外諸都市等との連携・協力に関する調整業務に、その経験をどのように生かせるのか、あなたの考えを具体的に述べてください。（８００字程度）

提出課題２　　以下の知事発言（和文）を英訳して下さい。

オリンピック・パラリンピックにつきまして、東京は開催都市としての責務を果たすべく、安全安心な大会を実現する準備に邁進をしてまいります。２月には、そのための具体的な取組が盛り込まれました「プレイブック」の初版が公表されました。引き続き、組織委員会、国、IOC、IPCをはじめ関係機関と連携して、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、ハード・ソフトの両面にわたる取組を都民の豊かな生活へと繋げていくなど、綿密な仕事を積み重ねてまいります。

東京2020大会は、「多様性と調和」を大きなビジョンとしております。これまで、「オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」の制定など、人権意識の醸成に取り組んでまいりましたこの東京が、このビジョンを大会の中でいかに具現化し、世界へと発信していくのか。まさに今、世界が注目をいたしております。大会を契機に、多様性と人権尊重の理念を社会に一層根付かせ、それをレガシーとして、より良い未来を創り上げていきたいと思います。

（２）

本日、東京2020組織委員会会長に橋本聖子氏が就任されました。

橋本会長は、オリンピックでは冬季、夏季あわせて計7大会出場されるなど、アスリートとしての経験も大変豊富であり、アスリートの目線での大会運営も行っていただけることと大いに期待しております。さらに、オリンピック・パラリンピック担当大臣として、政府を代表され東京2020大会の開催に向けて大変なご尽力をいただきました。また、女性活躍担当大臣も兼務されており、東京2020大会の理念である「多様性と調和」の具体化も図られていかれるものと存じます。

東京2020大会の開催まで、半年を切りました。3月にはいよいよ福島県から聖火リレーのスタートを迎えます。都は開催都市として、コロナ感染症対策に万全を期し、アスリート、子供たちはじめ多くの方々が待ち望む安全・安心な大会とするため、引き続き、橋本組織委員会会長はじめ、国、IOC、IPCなど全ての関係者とともに一丸となって取り組んでまいります。